

●第72回施工ワーキング

平成24年1月22日（日）に第72回施工ワーキングを開催し、23名が参加しました。

今回は、施工ワーキングで話し合った結果、必要だとしてきた初春（3月）の生物調査と交通調査について、調査内容や時期を確認しました。

また、学びの時間として、これまでの施工ワーキングの活動の中で、環境に配慮して進めたポイントについて再確認しました。

前回に引き続き、グループごとで学術検証委員会が出された課題について検討しました。

◇学びの時間

これまで、施工ワーキングでの話し合いやフィールドワークを通じて、道路建設を進める際に配慮してきたポイントを「学びの時間」として整理し、確認しました。

当初からのメンバーには再確認の場となり、新しいメンバーには施工ワーキングをさらに理解する機会となりました。

今回は、「シェルター構造」と「よう壁」に絞って、設計の考え方から施工方法、現在の状況まで確認しました。

これまでの活動の再確認は、学びの時間として次回以降も継続していく予定です。



◇今後実施する調査

2月～3月に実施する交通調査及び生物調査について確認しました。

1.交通調査

地下鉄工事に伴う道路復旧工事後の交差点の交通量や渋滞、抜け道利用状況等の調査を行います。



以前の交通状況との比較を行い、地下鉄や国道302号、名古屋第二環状自動車道の影響等について把握します。

《調査項目》

交通量調査	交差点	5か所
交通量調査	抜け道	13か所
渋滞長調査	10方向	(7地点)
所要時間調査	2ルート	

※ 調査時期：2月、3月

※いずれの調査も終了しました。

2.生物調査

H23.10月の施工ワーキングで、「初春の生物調査を行っても有益な調査結果が得られるかどうかは分からないが、調査を行うことは意味があるため、行政で実施できるよう検討していく」ということになりました。



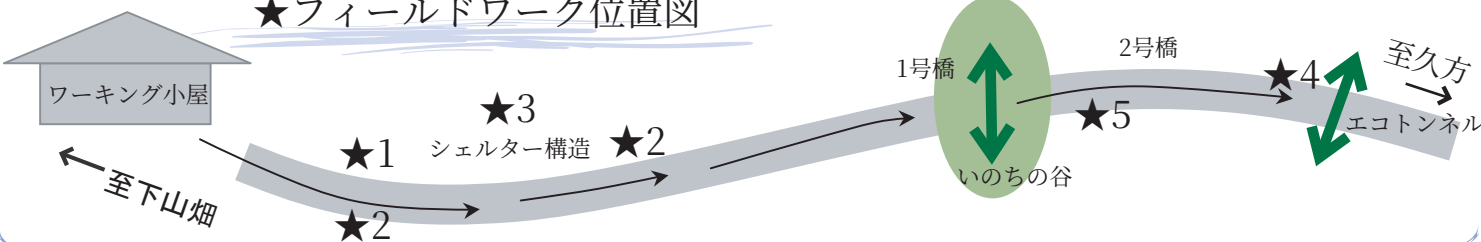
H24.3月に生物調査を実施します。

《調査項目》

植物調査	出現種の把握
	樹木位置の把握
	コドラート調査
昆虫類調査	出現種の把握
哺乳類調査	出現種の把握
	(トラップ調査含む)

※ 調査時期：3月

★フィールドワーク位置図



○インスペクターからのコメント（72回）

ワーキングで積み上げてきたことは評価できるのですが、一方で、反対の方たちに対する説得が少し足らなかったかなと感じます。我々の思いとは違う視点で見ている方々もいますので、いろいろな意見をいただいて、いろんな人の理解を得ながら、多くの人に納得してもらえような道路にしていきたいですね。



岡村
インスペクター

このワーキングでは、できることとできないことがありますので、できない部分はきちんと行政に要請していく姿勢がこれからも必要だと思います。我々は、これまでの施工ワーキングの結果をみて、残っている作業を進めていけばよいと思います。繰り返し言っていますが、いかに継続していくかというところが非常に重要なことです。



大竹
インスペクター

現在、これまでの10年分のヒメボタルのデータをまとめているところです。タヌキの生息状況もたくさんデータがまとまってきていますし、シェルター構造上部の水位のデータもあります。ワーキングで得られたデータが、ここで終わって誰も見ないという状態は、一番もったいないと思うので、これらのデータが活かせる仕組みづくりが必要だなと感じます。



長谷川
インスペクター

◇グループ活動

春に植物が成長する前のこの時期に、シェルター構造上部の伐採やクズ等のツル植物の撤去作業をグループごとの活動と合わせて行いました。

★植物グループ

根株移植した桜の定期観測 ★1

毎年1月に行っている定期観測を行いました。合わせて不要な枝の伐採と根株部分で腐敗した箇所を除去しました。



萌芽更新木の定期観測 ★2

萌芽更新木の現状の観察と写真撮影を行いました。



★共同作業

シェルター構造上部の伐採 ★3

平成18年度に植栽したエリアの伐採を行いました。



伐採に必要な樹木にマーキングします。

マーキングした樹木を伐採します。

来年は平成19年度に植栽したエリアの手入れをする予定です。

ツル植物の根っこ掘り ★3

クズやヤブガラシ等のツル植物が繁茂し、植栽した樹木の成長を阻害するため、ツル植物を根っこから掘り取る作業を行いました。

根っこを見つめるのに一苦労・・・。



★施工グループ

沢すじの浸食状況確認 ★5

メンバーから、沢すじの浸食が進んでいるのではないかという意見が出たため、施工グループで沢すじ全体を現場で確認しました。

浸食により、沢すじが大きく広がっているようです。



今後、対策を検討していきます。

★動物グループ

センサーカメラの設置 ★4

エコトンネルを通過するかどうか調査するため、トンネルの出入口付近や内部の撮影は行ってきましたが、今回は、エコトンネル上部の道路横断状況を見るため、センサーカメラを設置しました。